

補助事業番号 23-4-034

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災地域の記録、調査活動 補助事業

補助事業者名 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

現地に専門的な知識・技術を持った研究者を派遣し、被災した文化財を救出し、洗浄・修復・整理したうえで所有者に返還する。対象とする文化財は、個人が住宅で所蔵しているものを中心とするが、対応が必要な場合は博物館などに収蔵されているものも対象とする。文化財については、国および県市町村による指定の有無は問わないが、未指定の文化財を優先的に救出支援する。

(2) 実施内容

気仙沼市を中心とする三陸地方沿岸部において地震と津波により被災した文化財について専門的な知識・技術を有する研究者を派遣して文化財を救出し、洗浄・修復・整理した。被災した建物の内部にある文化財を救出し、洗浄・修復・整理の作業を行った。真空凍結乾燥法などの特別な設備を要する処置を要する文化財については、文化庁による文化財レスキュー事業を介して、奈良文化財研究所に移管した。

また、歴史民俗資料館等専門職員研修（2011年11月）、千葉県文化財管理指導講習会（2011年11月）、国立民族学博物館公開シンポジウム「文化遺産の復興を支援する—東日本大震災をめぐる活動」（2012年3月）などにおいて、大規模災害時における文化財救出支援のあり方について報告し、他機関の専門職員・研究者ともディスカッションを行った。あわせて、『被災地の博物館に聞く』（吉川弘文館、2012年）において「民家からの民具・生活用具の救出活動—宮城県気仙沼市小々汐地区」（執筆：小池淳一・葉山茂）と題して活動内容を報告した。

2. 予想される事業実施効果

事業の成果として救出した文化財は、古文書や民具といった一般の住宅に保管されている文化財であり、地域の生活に関するこれらの文化財はこれから復興・再生していくにあたって記憶やアイデンティティの核となることが期待される。またシンポジウムや出版物などを通じた活動報告は、今後大規模災害が発生した際における文化財保全活動の指針となるものである。

3. 本事業により作成した印刷物等

（特になし）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館（ダイガクキョウドウリ
ヨウキカンホウジン ニンゲンブンカケンキュウキコウ コクリツレキシミンゾクハ
クブツカン）

住所： 285-8502
千葉県佐倉市城内町117番地

代表者： 館長 平川南（ヒラカワミナミ）

担当部署： 管理部博物館事業課展示係（カンリブハクブツカンジギョウカテンジカカリ）

担当者名： 主任 糸原清（イトハラキヨシ）

電話番号： 043-486-4912

F A X： 043-486-4211

E-mail： itohara@rekihaku.ac.jp

U R L： <http://www.rekihaku.ac.jp/>



文化財救出作業のようす



文化財クリーニング作業のようす



文化財目録作成作業のようす



救出文化財管理のようす



補助事業を紹介した展示のようす

■ [競輪の補助金を受けて実施した「平成23年度（復興支援）被災地の記録、調査活動」の事業報告（PDF）](#)

■ [気仙沼市被災文化財等救出支援活動レポート第1～22報](#)